

# 8月15日と南原繁を語る会

プログラム

総合司会 立花隆

## 第1部 東京大学の8月15日と南原繁

### イントロダクション

東京大学の8月15日となぜ今南原繁か

立花隆

### ビデオクリップ上映

初代総長・南原繁とその時代

映像制作NHK

### 証言

昭和20年8月15日に東大安田講堂で  
終戦の詔勅を聞く

石坂公成  
細谷憲政

東大キャンパス

二つの接收計画（日本陸軍と占領軍GHQ）

石井紫郎

終戦直後混乱期の総長と学生の交情

堤清二

休憩

## 第2部 南原繁の歴史的意義と現代的意義

政治学者南原繁

佐々木毅

南原繁と憲法九条

姜尚中

南原繁と靖国問題

高橋哲哉

南原繁と倫理的想像力

大江健三郎

今問われているもの

鴨下重彦

2006年8月15日（火）

東京大学法学部31番教室（法文第2号館）

第2会場工学部2号館講堂

開場16:30／開演17:30／終演20:40

主催：「8月15日と南原繁を語る会」実行委員会

後援：東京大学出版会

## 講演者プロフィール (講演順)



### 立花 隆 (たちばな・たかし)

1940年長崎生まれ。東京大学文学部仏文科卒業。74年『田中角栄研究—その金脈と人脈』で金脈批判の先鞭をつけ、以後精力的に腐敗政治批判を続けている。著書に『滅びゆく国家』(日経BP社)『天皇と東大』(文藝春秋)『エーゲ—永遠回帰の海』(書籍情報社)など。83年菊池寛賞、98年司馬遼太郎賞受賞



### 佐々木 毅 (ささき・たけし)

1942年秋田県生まれ。東京大学法学部卒業。政治学者。専攻は政治思想史、政治学。2005年4月から学習院大学法学部教授。21世紀臨調共同代表。皇室典範に関する有識者会議のメンバーの一員でもある。著書に『政治学講義』(東京大学出版会)『プラトンの呪縛—20世紀の哲学と政治』(講談社、第9回読売論壇賞・第11回和辻哲郎文化賞受賞作)『政治家の条件』(講談社)など。2005年11月2日に紫綬褒賞を受賞

(写真提供=朝日新聞社)



### 石坂 公成 (いしざか・きみしげ)

1925年東京都生まれ。東京大学医学部卒業。53年国立予防衛生研究所免疫血清室長。57カリフォルニア工科大学化学部研究員、63年小児喘息研究所免疫部長、70年ジョンズ・ホプキンス大学医学部教授、74年京都大学医学部教授兼任、81年ジョンズ・ホプキンス大学免疫学部長、85年米国免疫学会会長、89年ラホイアアレルギー免疫研究所所長・カリフォルニア大学教授、97年日本学士院会員。74年文化勲章、'99勲一等瑞宝章、2000年日本国際賞受賞



### 姜 尚中 (かん・さんじゅん)

1950年熊本県生まれ。早稲田大学大学院政治学研究所博士課程を修了。政治学者。専攻は政治学、政治思想史。研究分野はアジア地域主義論・日本の帝国主義を対象としたポストコロナ理論。現在、東京大学情報学環教授。著書に『在日—ふたつの「祖国」への思い』(講談社)『反ナショナリズム—帝国の妄想と国家の暴力に抗して』(教育史料出版会)『ナショナリズム』(岩波書店)など



### 細谷 憲政 (ほそや・のりまさ)

1925年千葉県生まれ。東京大学医学部医学科卒業。専攻は人間栄養学。55年東京女子医科大学助教授、60年東京大学医学部衛生看護学助教授、65年東京大学医学部保健学助教授、71年東京大学医学部教授保健栄養学講座担当、86年東京大学名誉教授、88年国際学院埼玉短期大学副学長、91年茨城県保健科学センター長、93年女子栄養大学大学院教授、96年財団法人日本健康・栄養食品協会理事長。著書に『いまなぜエネルギー代謝—生活習慣病予防のために』(第一出版)『栄養管理のための人間栄養学—臨床栄養における実践活動の手引き』(日本医療企画)など



### 高橋 哲哉 (たかはし・てつや)

1956年福島県生まれ。東京大学教養学部フランス学科卒業。同大学院人文科学研究科博士課程満期退学。現在、東京大学大学院総合文化研究科教授。専攻は哲学。著書に『国家と犠牲』(日本放送出版協会)『靖国問題』(筑摩書房)『教育と国家』(講談社)など

(写真提供=朝日新聞社)



### 石井 紫郎 (いしい・しろう)

1935年東京都生まれ。東京大学法学部卒業。専攻は日本法制史。72年東京大学法学部教授、90年同学部長、92年東京大学副学長、96年大学共同利用機関・国際日本文化研究センター教授、2001年内閣府・総合科学技術会議常勤議員。現在、桐蔭横浜大学大学院客員教授、日本学術振興会・学術システム研究センター副所長、国立大学法人・東北大学監事、大学共同利用機関・自然科学研究機構理事。



### 大江 健三郎 (おおえ・けんざぶろう)

1935年愛媛県生まれ。東京大学文学部仏文学科卒業。大学在学中の57年『奇妙な仕事』で東大五月祭賞を受賞。以後、58年『飼育』で芥川賞、64年『個人的な体験』で新潮社文学賞、67年『万延元年のフットボール』で谷崎潤一郎賞、73年『洪水はわが魂に及び』で野間文芸賞、83年『「雨の木」を聴く女たち』で読売文学賞、『新しい人よ眠れよ』で大佛次郎賞、84年『河馬に噛まれる』で川端康成文学賞、90年『人生の親戚』で伊藤整文学賞を受賞、94年にノーベル文学賞を受賞



### 堤 清二 (つつみ・せいじ、辻井喬)

1927年東京都生まれ。東京大学経済学部卒業。西武グループの創業者である故・康次郎氏の次男で、西武百貨店を核に西友、パルコ、クレディセゾン、インター・コンチネンタル・ホテルズなどグループ総売上4兆円強を誇る一大セゾングループを築き上げる一方、作家・詩人としても活躍。55年『不確かな朝』で文壇デビュー。著書に『父の肖像』『深夜の孤宴』(新潮社)『桃幻記』(集英社)など



### 鴨下 重彦 (かもした・しげひこ)

1934年北海道生まれ。東京大学医学部卒業。専門は小児科学。ロスアンゼルス小児病院、アインシュタイン医科大学に留学。自治医科大学小児科教授、東京大学医学部小児科教授、医学部長を経て国立国際医療センター院長、同総長、2000年名誉総長。前賛育会病院長、南原繁研究会代表